

リハビリテーション目的入院のご案内

もう一度、チャレンジしませんか？

地域包括ケア病床では、内科、外科、整形外科、脳神経外科などでの入院による急性期治療後、自宅に退院するまでもう少しリハビリテーションが必要だが回復期リハビリテーション病棟の対象ではない患者さんや、他院での回復期リハビリテーション終了後もさらなるリハビリテーションの継続が有効と判断された患者さんなどを受け入れ、安心して自宅や施設で暮らせるようにリハビリテーションを中心とした治療や在宅生活に必要な準備を行います。

また、自宅療養中の方で、徐々に身体の力が低下して日常生活に支障をきたしており、入院して集中的なリハビリテーションを行うことが有効であると医師により判断された場合、積極的なリハビリテーションを行っていきます。

半田中央病院では、従来のリハビリテーションの方法に加え、最新の治療法や知見を加えた短期集中型のリハビリテーション治療を行っています。慢性期の患者様であっても、発症からの時期に関係なく、お体の状態に合わせた専門的かつ最新の治療プログラムを積極的に行っています。

(内容)

入院中、リハビリテーション科のセラピストにより、目標に応じたりハビリテーションを実施します。患者様の状況に応じて、リハビリテーションの実施時間や内容は異なります。必要に応じてご家族やご担当の介護スタッフ等へ介護指導も実施します。

- 徒手療法
- PNF
- OCI療法
- ボツリヌス療法
- 呼吸療法
- 言語療法
- 高次脳機能障害のリハビリテーション
- 嚥下障害のリハビリテーション
- 嚥下造影検査

(対象となる方)

- 例えば・・・
- リハビリテーションを行うことに意欲的な方
 - 廃用の進行がある方で、少しでも改善したいという意欲のある方
 - 少しでも今より良くなりたいと思われている方
 - 身体機能の維持・改善により介護負担の軽減を目指したい方
 - 転倒を繰り返されている方
 - 嚥下機能の改善や誤嚥のリスクを軽減したい方 など

(入院期間)

○2週間～8週間程度となります。

※全身状態やご本人とご家族の意向を踏まえて、予定の入院期間を決めさせていただきます。

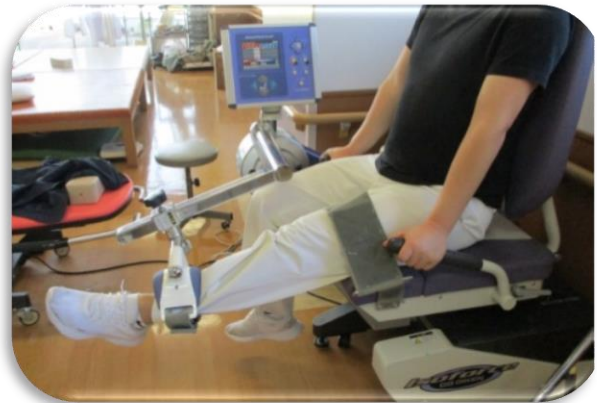
(その他)

○必要に応じて、退院前にカンファレンスを実施します。

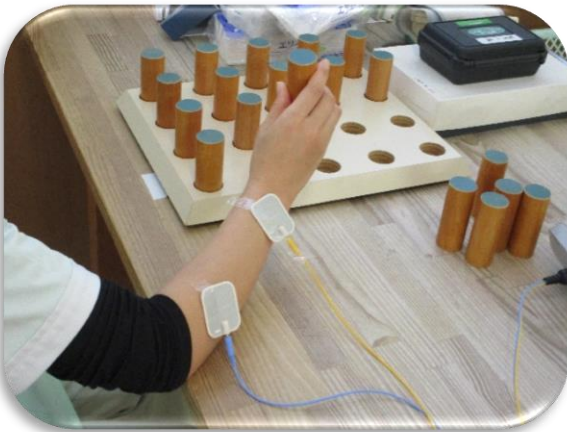
【画像情報を元にリハビリの内容や目標を決定】



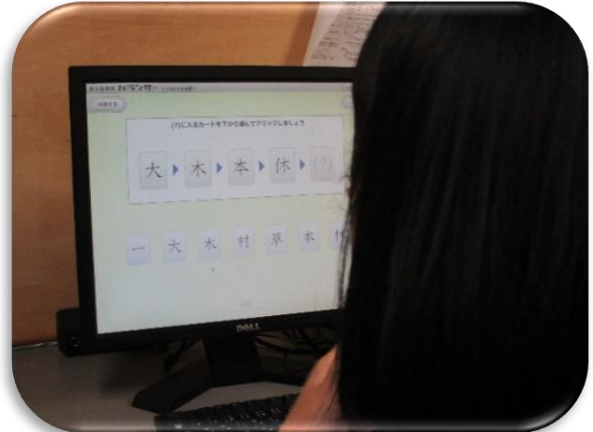
【脚力の測定と筋力強化】



【電気刺激による上肢のリハビリ(CI療法)】



【高次脳機能・認知機能のリハビリ】



【嚥下造影検査】

